

# 南阿蘇村 復興むらづくりだより

～あれから6年  
6集落のいまを刻む～



地震被害の大きかった各地区では、住民の皆さんが復興とさらに地域をより良くしていくための活動に奮闘されています。「南阿蘇村復興むらづくりだより」の中で6地区のいまと「集落復興支援事業」の活動などについて紹介していきます。

## ■乙ヶ瀬区のいま

主な地震被害…農地の大規模崩落・神社・公民館・集落の水源・宿泊施設など

集落住宅被害…地震前：30世帯→地震後：全半壊18世帯→現在：29世帯（令和4年3月現在）

乙ヶ瀬区は、南阿蘇村西部にあり、主に農業（米）と畜産が盛んな集落です。農地の大規模土砂崩落などで農業が数年間再開できず、現在では復旧工事が進み一部の農地では再開できたものの、全農地の復旧完了は令和4年度の予定です。また地区内には、九州初と言われるペンション村をはじめ温泉宿もありました。甚大な被害により、再建が大変難しいなか、移転再開や現地で再建されたところもあります。また、同地区内にある別荘地などでも復旧が進み、現在約60世帯が住まれています。

集落復興支援事業では「桜の植樹による地区の活性化」（おとがせ桜ん会）として、令和元年から活動。道路沿いの牧野や農地に桜並木を作り、過疎に向かう集落へ花見や交流でお客さんが来ていただくきっかけになればと始まりました。桜の苗木は豪雨災害があった福岡県東峰村などとの交流で提供いただいたほか、久留米の専門業者から購入し、毎年植えては鹿などの食害にあいながらも、これまで牧野などに約100本の植栽をおこない、地区の皆さんで下草刈りなどの管理をしています。

春には集落内の作業ハウスで接ぎ木やミニ盆栽作りなどもおこなっていて「おとがせの桜」として体験会や販売につなげ、活動の継続ができればと考えています。接ぎ木やミニ盆栽に興味のある人は、機会があれば一緒に参加してみたいか（^^）



①護王神社の復旧記念式典 ②神社復興記念の手ぬぐいを作りました ③集落の眺めのいい場所に桜の植栽 ④軽石と苔を使ったミニ盆栽 ⑤作業ハウスでの竹の植木鉢作り

〈問い合わせ〉政策企画課 集落支援員 北里 TEL0967 (67) 2230